

蔵出しお宝ニュース

— 第 27 号 —

三原市歴史民俗資料館では、所蔵資料の本格的な整理・展示のリニューアルに取り組んでいます。

本紙では、資料館内で長く眠っていた三原市ゆかりの貴重な資料の解説と行事の案内・紹介などを随時行って参ります。

かっちゅう うちかけ 甲 冑 ・ 打 掛 を 着 て み よ う ！ 開 催

平成 25 年 10 月 26 日（土）・27 日（日）に毎年恒例の賑やかな行事・三原市生涯学習フェスティバルが開催されます。中央公民館や三原リージョンプラザを中心に各施設趣向を凝らした催しが盛りだくさんですが、資料館では 1 階ロビーにて無料体験コーナー「甲冑・打掛を着てみよう！」を 10 時から 15 時までで行います。当日は三原の甲冑隊・三原二之丸会の皆さんがお手伝いして下さいます。



時代劇で役者さんが甲冑や打掛を着ている場面をよく見かけますが、皆さんは実際に甲冑や打掛を着てみたことはありますか？ぜひカメラをご持参いただき、昔の人になりきって記念撮影をなさってください。

甲冑は現代の甲冑師が忠実に再現したものですので、当時の生活そのものが体験できます。昨年初めて行いましたが、老若男女を問わず大人気でしたので、今年も開催することになりました。

また、正面玄関前にて大餅つき大会を行います。26 日（土）は午前 11 時からつき始め、27 日（日）は午前 11 時と午後 2 時につき始めます。現代ではなかなか食べることのできない、つくたてのおいしいお餅をきなこ味で召し上がっていただこうと思います。1 回につき約 100 個を予定していますが、お一人様 1 個限りで無料配布いたします。ご遠慮なくお召し上がりいただき、資料館内をご見学ください。



（左上）昨年の「甲冑・打掛を着てみよう！」の様子

（左） 昨年の大餅つき大会

西小・木原小・船木小の皆さん来たる！



(上) のぞきからくりを鑑賞する
船木小学校の皆さん

2学期に入り、資料館の社会見学申し込みが増えました。三原市立西小学校・木原小学校・船木小学校がすでにご来館いただきました。三原の歴史と人々のあゆみを、実際に資料を見学しながら約30分で学習していただいています。子どもたちは展示資料の中でも、特にナウマンゾウの化石や三原城の模型、のぞきからくりに興味津々です。見学時間を長めにとっていただいている場合には、1階ロビーで昭和期に使用された民具の説明なども行っています。

余談ですが本年度から、当館所蔵の資料を使って三原の歴史や文化を学んでいただく「蔵出し三原のお宝解説」が生涯学習まちづくり出前講座のメニューに加わりました。申込要項などは三原市ホームページや最寄りの公共施設にございますので、どうぞお気軽にお申し込みください。

おき どこ しゅん じゅう
置 床 春 秋



掛物 おか みんざん 岡 岷山 筆
水墨山水

岡岷山〔享保19年（1734）～文化3年（1806）〕は、広島藩士で、江戸時代の広島県の代表的な画人です。先ほど開催された「御調八幡宮と三原市の文化財展」にも岷山の作品が展示されました。

花入 魚籠 花 季のもの

中国文化・中国語教材図書展

日時：平成25年10月1日（火）～21日（月）

図書館の開館時間に準ずる。

最終日は16時まで。

場所：中央図書館 1階ロビー

内容：中央図書館と福山大学孔子学院の共催で、中国語の文化・文学関係書をはじめ、中国料理、観光、写真集、中国語テキストなど、260冊を展示しています。どうぞ手にとってご覧ください。

発行 平成25（2013）年 10月16日

〒723-0015 三原市円一町二丁目3番2号

三原市歴史民俗資料館

TEL 0848-62-5595

※本冊子に掲載の写真などは、許可なく転用などしないようお願い申し上げます。